

2002

新年号



394

広 報

カワチ



KOHO
KAWACHI

迎

春

利根川から望む日の出 (平三郎地先)

新年

農業所得向上を目指し 明るいまちづくりを



河内町長 野高貴雄

新年あけましておめでとう
ございます。

輝かしい二〇〇二年の新春
をご家族お揃いでお迎えのこ
ととお喜び申し上げます。

昨今の経済不況は住民生活
に大きな影響を与えておりま
す。また、昨年のアメリカ同
時多発テロ事件は、全世界に
大きな衝撃が走りました。国
内でも大きな事件がつつぎま
したが、十二月一日、皇太子
殿下に、待ち望んでおりまし
た敬宮愛子さまのご誕生にな
り、国民喜びにあふれており

ます。心よりお祝い申し上げ
ます。

さて、河内町の基幹産業で
ある農業の転作については、
一〇〇パーセント達成するこ
とができました。大変ご協力
をいただきました。ありがとうございます。
また、本年も同じ面
積が配分されており、ご協力
方よろしくお願いを申し上げます。
第三セクター(株)
ふるさとかわち、直販センター
ふるさとかわちともども、運
営については順調に推移をし
ております。献上米、河内ブ
ランド米「おかずのいらない
かわちのお米」も大変有名に
なりまして、個人の消費が伸
びてまいりました。新鮮野菜
が好評の直販センターも客数、
売り上げ高とも大幅に伸びて
まいりました。また、献上米
でつくられたお酒「三義人」
「龍峰」も親しまれており、
今年「側高」を発売する予
定です。どうかご愛飲の程お
願い申し上げます。河内町レ
ンコンについては、茨城県銘
柄産地指定を受けました。こ
れも生産者の方々のご努力の
成果であり、今後、全国一を
目指していただきますようお願い

ております。

本年供用を開始する新東京
国際空港暫定滑走路騒音対策
を含め民家防音工事区域の拡
大について強く要望をいたし
てまいります。

少子高齢化時代を迎え、昨
年八月には、シルバー人材セ
ンターを設立し、また社会福
祉協議会に事務局長を配置し
協議会の充実を図ってまいり
ました。そして、四月には、
社会福祉法人河内厚生会特別
養護老人ホーム「あじさい苑」
が開所いたします。待望の総
合病院「龍ヶ崎済生会病院」
が一部開院をしており、四月
から本格稼働をいたします。
地域の福祉、医療の充実が図
られることと思っております。

児童生徒の健全育成のため、
放課後児童健全育成事業(学
童保育)を、また十四年度か
ら学校週五日制が実施され、
これに伴い現在のチャレンジ
教室の拡充推進等、検討をい
たしております。

公共下水道工事も生板地区
を行っており、長竿地区も設
計が終わり工事に入っております。
道路網につきましては、圏

央道、第二栄橋の早期完成を
要望いたしております。また、生
板バイパス、交通渋滞解消の
ため国道408号線、および
長豊橋の整備促進を強く要望
しているところです。

毎年開催している地域懇談
会も七回を終了いたしました。
身近な問題から、市町村合併
問題と幅広いご意見、ご要望
がありました。この、皆さま
方からのご意見、ご要望につ
いては、健全財政を堅持しつ
つ生活優先の新年度予算編成
を考えております。

市町村合併問題については、
皆さま方と十分協議をし、町
から市への合併を考えており
ます。

本年も、「住んでる町から
住みたい町」をスローガンに
「明るい・元気の出る・安心
して暮らせる町政」を目指し、
太陽と水と緑の町、河内町の
発展のため努力をいたす覚悟
でございます。

どうか、本年も皆さま方に
とりまして明るい、そしてす
ばらしい年でありますようご
祈念申し上げます、新年のご挨拶
といたします。

謹 賀

夢ある明るい まちづくりを目指して



河内町議会議長

田 仲 重 雄

新年あけましておめでとう
ございます。

平成十四年の年頭にあたり、
町議会を代表いたしまして、
謹んで新年のご挨拶を申し上
げます。

町民の皆様には、ますます
ご清祥にてよいお年をお迎え
のことと心よりお慶び申し上
げます。

昨年は、二十一世紀の新し
いスタートの幕開けとともに、
小泉内閣発足による「聖域な
き構造改革路線」により、我

が国の経済の再生を願いつつ
も、九月にはアメリカ同時多
発テロにより、世界経済に与
える影響も憂慮されていると
ころであります。しかし十二
月に皇太子妃雅子さまのご出
産というおめでたいニュース
もあり、目まぐるしい激動の
一年でありました。

河内町では、地方分権によ
る情報公開や少子高齢化問題、
市町村合併問題による地域の
活性化、IT革命、さらにダ
イオキシン対策をはじめとす
る環境問題など、様々な問題
がクローズアップされてきて
おります。この中で、市町村
合併につきましても、茨城県
より龍ヶ崎市を中心としたつ
ながり、稲敷郡としてのつな
がりの二つの素案が示されて
おりますが、生活圏に合わせ
たまちづくりや、多様な住民
のニーズに応えるためには、
これらを参考に、将来の河内
町発展のため、又、夢ある明
るいまちづくりを目指して、
今後さらに調査研究を重ねて
まいります。この問題につき
ましては、現在、郡内六町村

の議員各位により「郡内六町
村議会町村合併研究会」を設
け、鋭意検討をいたしている
ところであります。

我々議会一同は、町民の代
表として、議会の円滑な運営
と町発展のため精神誠意努力
し、これらの諸課題に対して、
議会と執行部が一体となって、
将来のまちづくりのため、町
民の皆様のご期待に応えるよ
う精一杯努力する所存であり
ます。

最後になりますが、皆様の
ご健康、ご多幸をお祈り申し
上げますとともに、本年も議
会に対して相変わらぬご支援
ご協力を賜りますようお願い
申し上げます、新年のご挨拶
といたします。



あけましておめでとうございます
本年もよろしく願いいたします

平成14年 元旦

河内町議会議員一同
河内町役場職員一同



河内町民憲章

わたしたちは、河内町民として先人の偉業を誇りとし、
かぎりない未来をみつめ真の豊かさに住みよいまち河内
をつくるため、この憲章を定めます。

一 水と緑の自然を愛し、

心豊かなまちをつくりましょう。

一 文化とスポーツを愛し、

夢あるまちをつくりましょう。

一 仕事にはげみ、

ゆとりと潤いのあるまちをつくりましょう。

一 地域の平和ときまじを守り、

明るいまちをつくりましょう。

一 共にささえあい、

希望に満ちたまちをつくりましょう。

